

伊勢半本店コラボレーション企画

手仕事ギャラリー 「赤絵細描と共に歩んだ軌跡—福島武山 喜寿展」

会期 2022年2月26日(土)～4月9日(土)

伊勢半本店は、手仕事ギャラリー「赤絵細描と共に歩んだ軌跡—福島武山 喜寿展」を、2022年2月26日(土)より4月9日(土)まで、紅ミュージアムにて開催いたします。

「技」と「日本の伝統」を守り伝える伊勢半本店が、手仕事の魅力を広く伝える手仕事ギャラリー。今回は、九谷焼 赤絵細描の第一人者、福島武山氏の喜寿を記念し、その歩みを象徴する歴代作品と、精緻で成熟した作品を多数所有する伊勢半グループ代表・澤田のコレクションを、合わせて約50点ご紹介します。

福島氏は、一度は途絶えた佐野赤絵の技法を、前時代の作家の名作から手探りで学び再興し、惜しみなく次代へと継承しています。

福島氏の手によって描かれる、繊細な赤い線。そこから生まれる唐人や竹林の七賢人の豊かな表情や、均一な線の組み合わせで自然を抽象的に表現したデザインなど、作品を通して福島氏の「技」「世界観」、そして溢れ出る豊かな人間性にも着目しながら、これまでの軌跡をぜひご堪能ください。



(上) 赤網手 めばえ 大皿

・径50×H7.5cm

(下) 赤網手 めばえ 大皿(部分)

東日本大震災の年、言葉で言い尽くせぬ
厳しい状況の中、復興を願い植物が戻って
くることを祈り命名。(福島)
第65回記念創造展「創造美術大賞」を受賞。

赤絵細描と共に歩んだ軌跡—福島武山 喜寿展

会 期：2022年2月26日（土）～ 4月9日（土）

※作品の一部を展示替えします。

前期：2/26(土)～3/12(土)、後期：3/15(火)～4/9(土)

会 場：紅ミュージアム

(東京都港区南青山 6-6-20 K's 南青山ビル 1階)

開館時間：10:00～17:00 (入館は閉館の30分前まで)

休 館 日：日・月曜日

観 覧 料：無料

主 催：株式会社 伊勢半本店

協 力：能美市九谷焼美術館 五彩館

交通案内：〈地下鉄〉東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道」駅下車
B1出口より徒歩約12分

B3出口 (エスカレーター・エレベーターあり) より徒歩約13分

〈バ ス〉渋谷駅東口バスターミナルより

都01 (新橋駅前行)、RH01 (六本木ヒルズ行)「南青山七丁目」下車

電 話：03-5467-3735

webサイト：<https://www.isehanhonten.co.jp/museum/>



花蝶文ワインカップ
・径7×H21cm

今後も感染症拡大状況、政府や東京都の勧告を踏まえ、会期・開館時間の変更、入場制限等を行う場合がございます。弊社webサイトで最新情報をご確認の上、ご来場ください。

【作家プロフィール】

福島 武山 / Fukushima Buzan

日本工芸会正会員。石川県指定無形文化財保持団体九谷焼技術保存会会員。



1999年 第23回全国伝統的工芸品公募展

第一席グランプリ内閣総理大臣賞

2015年 エルメス社時計文字盤「駒くらべ」制作

2016年 第1回三井ゴールデン匠賞

石川県文化功労受賞

2020年 第67回日本伝統工芸展出品作品「朱夏」

宮内庁お買い上げ

2021年 瑞宝単光章受章

【福島武山氏 展示作品紹介】 赤い線が描きだす 過去—現在—未来

会期中、作品の一部を展示替えします。前期：2/26(土)~3/12(土)、後期：3/15(火)~4/9(土)



岩上観音之図 飾皿 ・径 34×H4.5cm



飛天 花瓶 ・径 15×H130cm

鶴首の長さとおの膨らみが絶妙。このような優しい形には飛天が映えると思いイメージした。(福島)



小紋手 徳利 ・径 9×H21cm



大黒天像 置物・W10.5×D13×H21.5cm



弁財天 香盒 ・径 8×H3cm



赤網手山水文 馬上杯 ・径 6.5×H6.5cm

観瀑図を描き始めた初期の作品。(福島)



赤網手 金魚文 菓子鉢 ・径 22×H7cm



群仙人文 香炉 ・径 12×H17cm

二重香炉の素地が古い窯元にただ一つ残っていた。
六つの窓から筆を入れて百老手を描いた（福島）

瑞鳥文 碗皿 碗・径 11.5×H5.5cm 皿・径 14.5×2.5cm

【小町紅コラボレーション・作品展示販売案内】 2022年2月26日（土）より発売

福島武山ご一門の皆様にご制作いただいたコラボレーション小町紅、また、本喜寿展を祝い「寿ぎ」をテーマにした作品を展示販売致します。

※店頭販売のみ。一部作品は抽選販売となります。



福島武山氏 コラボレーション小町紅



参加作家コラボレーション小町紅

■価 格

3万円～15万円

■参加作家（順不同）

- 福島武山
- 織田恵美
- 見附正康
- 堀川十喜
- 林美佳里
- 架谷庸子
- 河端理恵子
- 吉村茉莉
- 福島礼子
- 吉田純鼓
- 広瀬絵美
- 板橋亜依
- 中谷麻瑚

【併催企画】 2022年1月18日(火) 10:00 予約受付開始

① 福島武山氏によるギャラリートーク

閉館後のミュージアムにて、展示作品を福島武山氏ご本人に解説いただきます。

日程：2022年2月26日(土) 17:00~/18:00~

定員：各回10名(要予約・先着順)

② 作家に学ぶ絵付体験—赤絵細描(初級編)

小さめの白磁プレートに赤絵細描の絵付を施し、ブローチを制作します。

講師：福島礼子氏(九谷焼赤絵細描絵付師)

日程：2022年3月5日(土) 10:30~/14:00~/16:00~(1時間程度)

対象：小学校高学年※1~一般、定員：各回6名(要予約・先着順)、参加費：4,500円(材料費込み)

③ 作家に学ぶ絵付体験—赤絵細描(中~上級編)

福島武山氏に赤絵を学ぶ体験講座です。普段使用されている絵具や道具で、ご飯茶碗に絵付けをおこなう貴重な機会です。

講師：福島武山氏(九谷焼赤絵細描絵付師)

日程：2022年3月26日(土) 10:00~/14:00~(2時間程度)

対象：小学校高学年※1~一般、定員：各回6名(要予約・先着順)、参加費：7,000円(材料費込み)

①②③いずれも、会場は紅ミュージアムで開催。

※1 参加者が小学生の場合は保護者をご同伴ください

申込み方法：電話(03-5467-3735)、伊勢半本店 web サイトお問い合わせフォームより

詳細・申し込み方法は弊社 web サイトをご確認ください。

<https://www.isehanhonten.co.jp/museum/workshop/>

【紅ミュージアム】

「紅」と「化粧」2つの視点から歴史と文化をたどる「紅ミュージアム」は、文政八年(1825)の創業より、秘伝とされた紅の製法を受け継ぎ、日本で唯一今も変わらず作り続ける紅屋・伊勢半本店の運営する資料館です。ここでは、紅づくりの技と文化や日本の化粧の歩みを、多くの実物資料からご覧になれるほか、小町紅のお試しづけや紅花の色素抽出ミニ実験といった体験コンテンツもご用意しています。



東京都が進める「江戸東京きらりプロジェクト」は、江戸東京の伝統ある技や老舗の産品等を新たな視点で磨きをかけ、その価値と魅力を国内外に発信することで、東京ブランドの確立やものづくりの本場・東京の再興、伝統ある産業の魅力向上、技の継承を目指す取り組みです。

伊勢半本店は、2018年度からモデル事業者に選定されています。 <https://edotokyokirari.jp/>

■この件に関するお問い合わせ先 株式会社伊勢半本店 PR 担当 mail@isehan.co.jp

■お客様お問い合わせ先

伊勢半本店 本紅事業部(平日 10:00~17:00)

〒107-0062 東京都港区南青山 6-6-20 K's 南青山ビル 2F TEL 03-5774-0296

紅ミュージアム(火~土曜日 10:00~17:00)

〒107-0062 東京都港区南青山 6-6-20 K's 南青山ビル 1F TEL 03-5467-3735

株式会社 伊勢半本店